

第8回サイエンスカフェ（防災研究座談会）

大阪市立大学都市防災教育研究センターでは、防災教育・研究のシーズやプロジェクトの情報共有や連携促進を目的として、防災研究座談会を開催しています。

今回は平成28年1月に当センターと包括連携協定を締結しました国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターの梶原浩一所長を講師にお迎えし、今後の防災・減災に有用なさまざまな映像をご紹介いただくとともに、映像の力を防災・減災に役立てる手法等についてお話しいただく予定です。

災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために日ごろから備えておくことが大切です。是非この機会にご参加ください。

日時：平成28年9月1日（木） 16:30～18:00

場所：大阪市立大学杉本キャンパス 工学部 G 棟 1 階 中講義室

話題：「映像の力を防災・減災に役立てる(仮)」

国立研究開発法人防災科学技術研究所

兵庫耐震工学研究センター長 梶原 浩一 氏

[概要]

日本列島は至る所で地震をはじめとする災害リスクを抱えています。私達の災害に対する知識は、わずか1000年ほどの経験知に基づいたものでしかありません。その多くは文献や伝承によるものであり、その実態を正確に理解することは容易ではありません。

昨今、これまでの経験知だけでは適切に対応することが困難だと思われる気象や災害事象が発現しています。私達の経験知を補うひとつの手段として『実験』があります。『実験』あるいはその映像を通してどのような事態が起こり得るのかを知り、備えることは、今後の防災・減災に大いに役立つことと思います。

今回のサイエンスカフェでは、世界屈指の施設である国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターでこれまでに実施された実スケール実験の映像をご紹介いただき、巨大地震のもとでどのような事態が起こり得るのかを学ぶとともに、映像の力を防災・減災に役立てる手法について議論したいと思います。

お問い合わせは下記のMail宛にお願いします。